

とやま 輝く!! 富(む)山の仕事人!!

川上～川下まで、森林・木材に関わる様々な分野で頑張る人を紹介します。

新川森林組合 森林作業員

尾谷 俊介さん

今回は、新川森林組合で森林作業員として活躍する尾谷俊介さんを紹介します。



尾谷 俊介さん

1 就労のきっかけ

尾谷さんは、現在、35歳で、平成22年に新川森林組合に就労し、勤続十年を迎えたところです。

親戚に林業関係者がいるものの、森林とは無縁の生活だったそうです。

きっかけはリーマンショック。小中高と続いていたサッカークラブの先輩から森林組合を紹介され、緊急雇用創出事業で就労されたそうです。

初めての森林での作業は大変で、自分でも驚くほどの大量の水を飲んだそうですが、体力面に自信があったことから続けてくることになりました。

一緒に就労した約20名が、現在では尾谷さんを含め2名になったそうですが、先輩方々からの期待も高い人材に成長されています。

2 主な業務

現在は、作業員として、管内全域で、下刈りや間伐作業を担っています。また、林道などの道路刈払い作業にも従事しています。

就労当時は刈払い機も使えず大鎌で行っていた作業も、現在では機械を巧みに操作し、効率よく作業を進められています。最近では、高性能林業機械にも興味が湧いているそうです。

3 仕事への感想

森林組合での仕事の感想をお聞きしたところ、「朝早く、夕方も早く終わる時間帯の仕事。生活リズムがいい。」

早く帰って趣味の活動でも?、と話を聞けると「子ども達と遊んだりしています。」と優しいパパの顔を見せて下さいました。

4 仕事への思い

下刈りや間伐を行うことで、荒れていた森がきれいになっていくことにやりがいを感じているそうです。

一本違う木を確かめながら伐るのが楽しい、と力強く答えていただきました。

「何より安全を優先して作業を行いたい。家族がいるから。」と、最後に答えてくれた優しい山の仕事人、尾谷さんの益々の活躍を祈念しております。



刈払い作業中

文責 新川農林振興センター林政・普及班